

平成26年度

鳥取県文化功労賞 受賞記念巡回展

入場
無料

平成26年
12月17日(水) ▶ 12月25日(木) **県立博物館** 第3展示室
■9時~17時 ■休館日:なし

平成27年
1月9日(金) ▶ 1月16日(金) **米子市美術館** 第1展示室
■10時~18時 ■休館日:1月14日(水)

平成27年
1月20日(火) ▶ 1月27日(火) **倉吉博物館** 第4展示室
■9時~17時 ■休館日:1月26日(月)



彫刻 古市 義二



民俗学

野津 龍

主催/鳥取県

お問合せ…鳥取県文化観光スポーツ局文化政策課

電話…0857(26)7133 FAX…0857(26)8108
E-mail…bunsei@pref.tottori.jp

鳥取県では平成15年度から優れた芸術文化活動により、広く文化の振興に功績のあった方の功績を讃えて表彰し、県民文化の向上に資することを目的として、鳥取県文化功労賞を設置しています。本巡回展は、平成26年度に受賞された方の功績と活動を広く県民のみなさまに紹介するものです。

本年度受賞者のみなさん



古市 義二 (ふるいち よしじ)

彫刻(倉吉市)

大正14年、東伯郡赤碕町(現琴浦町)生まれ。木彫を彫刻家・村上炳人に学ぶ。6年間の修行を経て帰郷し、山本兼文とともに山陰二紀会を発足する。

鳥取県美術展覧会審査員を歴任し、平成14年には第17回国民文化祭・とっとり2002の彫刻部門の審査員も務める。

昭和55年全国公募展・二紀展に初入選し、以降毎年入選を果たす。平成18年には、第60回記念二紀展功労賞を受賞し、平成21年には会員に推挙された。また関西二紀展でも平成15年を皮切りに同人賞4回受賞、平成24年に第59回関西二紀展最優秀賞を受賞する等、優秀な成績を残している。

京都在住の6年間に学んだ原始美術(洞窟絵画、岩陰彫刻など)を作風に取り入れ、具象から抽象まで幅広い作品作りを現在に至るまで続けている。



野津 龍 (のつ とおる)

民俗学(鳥取市)

昭和10年、東京品川生まれ。鳥取大学名誉教授。昭和55年から平成20年まで、28年間にわたり、鳥取県文化財保護審議会委員として文化財の保護及び保護思想の啓発に努めた。県内数多くの民俗文化財の保存に尽力し、中でも、因幡地方に伝わる麒麟獅子舞の県文化財指定にあたっては、精力的に調査・研究し、その成果をまとめた『因幡の獅子舞研究』などを通して普及啓発にも尽力した。この研究が基礎となり、平成21年3月には麒麟獅子舞が国の記録作成などを講ずべき無形の文化財に選択されるなど、その功績は顕著である。

また、『子どものための鳥取の伝説』、『鳥取県写真風土記』等数多くの鳥取県の民俗学を紹介する著書を執筆するとともに、その研究は鳥取県に留まらず、広く山陰地方を対象とし、県民文化の向上に大きく貢献している。

各会場へのアクセス及びお問合せ先



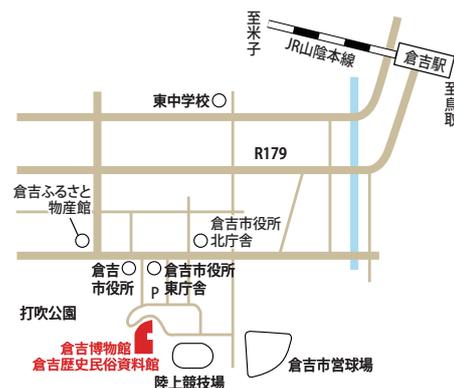
県立博物館

鳥取市東町二丁目124番地
電話 0857(26)8042



米子市美術館

米子市中町12
電話 0859(34)2424



倉吉博物館

倉吉市仲ノ町3445-8
電話 0858(22)4409